中学データベース　分野別 難易度の目安

中学　英語

教科書準拠シリーズにおいて、分野名のアルファベットは、次のものを指します。
H：『NEW HORIZON』（東京書籍）
S：『Sunshine』（開隆堂）
C：『CROWN』（三省堂）
BS：『Blue Sky』（啓林館）
OW：『ONE WORLD』（教育出版）
HW：『Here We Go!』（光村図書）
※教科書準拠シリーズは、上記の6つの教科書に対応しています。

まずはここから 中学英語

(11)

難易	(基礎) 標準 標準(やや難) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり25～40分
目的	中学英語を一から始めたい。		
内容	小学校で学習した単語や表現を練習する分野です。「単語」と「表現」という2種類の単元を使って、小学英語と中学英語をつなぐ学習ができるようになっています。		
活用法	「単語」単元と「表現」単元を組み合わせて学習し、しっかりと覚えましょう。中学入学前の先取り学習にも最適です。		

教科書準拠シリーズ

(311) (314) (317) (321) (324) (327) (331) (334) (337)
(341) (344) (347) (351) (354) (357) (361) (364) (367)

難易	基礎 (標準) 標準(やや難) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり15～50分
目的	定期テスト対策をしたい。		
内容	教科書のセクションごとに「重要単語」「基本文」「単語・本文」「文法のまとめ」「本文読解」「英作文」の6種類の単元があります。 〔重要単語〕新出単語について、ステップ1で意味、ステップ2でつづりの学習ができます。〔基本文〕文法事項の学習ができます。〔単語・本文〕新出単語と重要表現の学習ができます。〔文法のまとめ〕教科書の文法のまとめに対応しています。〔本文読解〕教科書本文の読み取り問題です。〔英作文〕文法、新出単語、重要表現を作文形式で学習できます。		
活用法	6種類の単元を組み合わせて、セクションごとに学習を進めるのが効果的です。また、用途に合わせ、1つの種類の単元を集中的に学習するのも良いでしょう。		

教科書準拠シリーズ（まとめ）

(313) (316) (319) (323) (326) (329) (333) (336) (339)
(343) (346) (349) (353) (356) (359) (363) (366) (369)

難易	基礎 標準 (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり40～50分
目的	教科書の文法、新出単語、重要表現をまとめて復習したい。		
内容	教科書のレッスン単位にまとめた単元です。ステップ1で文法、ステップ2で新出単語と重要表現が学習できます。各学年に3単元ずつオリジナルの長文問題があります。		
活用法	講習や定期テスト前の学習に便利です。ステップ1で文法だけ、ステップ2で単語と重要表現だけというように、用途に合わせた復習にも効果的です。また、長文問題は注釈付きなので、1年から無理なく学習できます。		

英単語 高校入試重要600

(75)

難　易	(基礎) (標準) 標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり15分
目　的	入試に向けて重要な単語を確認したい。		
内　容	入試で最低限必要な重要単語をまとめました。ステップ1で意味、ステップ2でつづりの学習ができます。		
活用法	英語が苦手な場合は「入門 英文法」分野と併せて学習することで、基礎を一から勉強し直せます。		

英熟語 高校入試重要300

(176)

難　易	(基礎) (標準) 標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり15分
目　的	入試に向けて重要な熟語を確認したい。		
内　容	ステップ1で意味、ステップ2でつづりの学習ができます。教科書での掲載回数が多い200語を「必須熟語200」、その他の覚えておきたい100語を「標準熟語100」としています。		
活用法	基本的な熟語を覚えることで、長文読解や英作文問題に取り組む基礎力をつけることができるため、英検対策や実力テスト対策にもおすすめです。		

基本文のまとめ 1年～3年

(81) (82) (83)

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり20分
目　的	英作文の練習がしたい。		
内　容	教科書で学習する文法事項を作文形式で学習できます。		
活用法	高校入試の英作文対策にもなります。冬期講習などで利用すると良いでしょう。		

入門 英文法A①、A②

(85) (86)

難　易	(基礎) 標準　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30分
目　的	とにかく英語の基礎を身につけたい。		
内　容	英語が苦手な生徒向けの、中1範囲の文法を解きながら覚えるシリーズです。各ステップのはじめに簡単な解説がついているので、一つひとつ丁寧に学習を進めることができます。		
活用法	標準レベルの学力ならば、先取り学習として取り組むのも良いでしょう。		

英文法　1～3

(191) (192) (193) (91) (92) (93)

難　易	基礎 (標準) (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	高校入試に向けて英文法の復習をしたい。より高い英語の力を身につけたい。		
内　容	教科書の題材から離れて英文法を学習できます。教科書に沿った学習と併せて使用すれば高い英語力がつきます。分野名の1～3は、およその学習学年を表しています。なお、新学習指導要領に対応した新しい分野（分野番号：191、192、193）は今夏リリース予定です。		
活用法	公立高校入試対策にも適しています。中3の夏休みから秋にかけた時期の英文法の総復習がおすすめです。		

長文読解　1年～3年

(101) (102) (103)

難　易	基礎　標準 (標準(やや難)) (応用(入試))	所要時間	1単元あたり40分
目　的	学年のレベルに合った長文問題に取り組みたい。		
内　容	長文読解の実践問題です。出題される英文には、その学年の終了時点までに標準的に履修済みとなる文法事項が用いられています。		
活用法	生徒の学年に合わせた長文読解力養成のための問題として、春期講習などでの使用がおすすめです。また、実力テスト対策として、3年生は入試対策として使用できます。文法の学習範囲は、「英文法 1年～3年」分野に対応しています。		

公立高校入試対策

(95)

難　易	基礎　標準　標準(やや難) (応用(入試))	所要時間	1単元あたり50分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題をベースとした対策シリーズです。文法、語彙、長文、対話文、英作文の実践演習ができます。A、B、Cの順に難しくなります。ラーニングとチェックを省略し、徹底的に演習をこなせるようになっています。		
活用法	1月から学習を始めても1週間に2単元程度進めれば入試に間に合います。最後まで諦めずに取り組みましょう。		

公立高校入試対策　活用・思考力

(501)

難　易	基礎　標準　標準(やや難) (応用(入試))	所要時間	1単元あたり10～15分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題から、図、表、グラフを読み取って解答を導く問題や、設問文が英語の問題、自分の意見を英文で表現する問題など、思考力、判断力、表現力が問われる問題をピックアップ。新傾向の入試問題の実践演習ができます。解説も充実しています。ステップのみの構成です。		
活用法	「公立高校入試対策A～C」のあとの、入試対策の仕上げとして最適です。		

国私立高入試演習

(96)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。教科書範囲を超えるような難しい文法や語彙、長文、対話文、英作文も充分に実践演習ができます。		
活用法	まずは「公立高校入試対策」分野に取り組み、10月頃からこの分野の学習を進めましょう。難関国私立高を狙う場合には、10月頃までに終わらせるような計画を立てましょう。		

難関国私立高入試演習

(97)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	難関国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。「国私立高入試演習」分野を学習したあとに、さらにハイレベルな実践演習として活用することができます。		
活用法	まずは「国私立高入試演習」分野に取り組み、10月頃からこの分野の学習を進めましょう。		

中学　数学

入門1年～3年

(9) (10) (20) (30)

難　易	(基礎) (標準)　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30分
目　的	とにかく数学の基礎を身につけたい。		
内　容	コンセプトは「1つのことを学んだら、すぐ練習」です。ステップは、「ガイド」と練習問題で構成されています。「ガイド」では、問題を解くための知識をできる限りシンプルに説明しています。		
活用法	数学が苦手な場合、ガイドを参考にしながら練習問題を解くことで基礎をしっかり身につけることができます。標準レベルの学力なら、先取り学習用として取り組むのも良いでしょう。		

1年～3年

(15) (25) (35)

難　易	基礎　(標準) (標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり40分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	基本から定期テスト頻出の応用問題まで、一つひとつ着実に学習することができます。チャレンジは公立高校入試レベルの問題です。		
活用法	数学が得意ならば、ぜひチャレンジにも取り組みましょう。		

1年のまとめ～3年のまとめ

(16) (26) (36)

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50～60分
目　的	教科書内容をまとめて復習したい。		
内　容	各学年での履修内容を章ごとにまとめたシリーズです。定期テストの直前や夏休みを利用した復習など、広い範囲の学習を短時間で行うのに適しています。		
活用法	テスト範囲が特に広い場合、チェックだけを学習すると短時間で復習できます。高校入試対策として、中3の夏休みに中1、中2の内容を総ざらいするのも効果的です。		

公立高校入試対策A～C

(67) (68) (69)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり50分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題をベースとした対策シリーズです。ステップ1は計算などの小問、ステップ2は関数、ステップ3は図形に関する問題を扱っています。A、B、Cの順に難しくなります。証明問題は、BとCで出題されます。		
活用法	入試本番のように時間を区切って取り組み、分からないところはしっかり確認しましょう。冬休みから学習を始めても1週間に2単元程度進めると入試に間に合います。最後まで諦めずに取り組みましょう。		

公立高校入試対策　活用・思考力

(501)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり10～15分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題から、規則性を見つけ出して解答を導く問題や、日常的な場面で関数や定理を利用する問題、計算過程や解法を記述する問題など、思考力、判断力、表現力が問われる問題をピックアップ。新傾向の入試問題の実践演習ができます。解説も充実しています。ステップのみの構成です。		
活用法	「公立高校入試対策A～C」のあとの、入試対策の仕上げとして最適です。		

国私立高入試演習

(71)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。公立高校入試のレベルを超えた実践演習ができます。		
活用法	夏休み頃から「公立高校入試対策A～C」分野に取り組み、10月頃からこの分野へと学習を進めましょう。難関国私立高を狙う場合には、10月頃までに終わらせるような計画を立てましょう。		

難関国私立高入試演習

(72)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	難関国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。レベルの高い実践演習ができます。		
活用法	まず「国私立高入試演習」分野に取り組み、10月頃からこの分野へと学習を進めましょう。		

中学　理科

入門1年～3年

(111) (121) (131)

難　易	(基礎) (標準)　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり20分
目　的	重要用語や基礎知識を確認したい。		
内　容	基礎事項を網羅したシリーズです。用語などの知識がポイントになる単元はラーニング・ステップ・チェックだけ、読み取りや計算がポイントになる単元はリトライ・リチェックを加えたつくりになっています。		
活用法	短時間で基礎事項を確認することができ、授業後や定期テスト前の復習におすすめです。また、予習に利用することで授業内容が理解しやすくなります。入試に向けた総復習や、苦手分野の底上げにも活用できます。		

1年～3年

(112) (122) (132)

難　易	基礎　(標準) (標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	基本的なものから定期テスト頻出問題まで幅広い問題を扱っています。チャレンジは公立高校入試レベルの問題です。		
活用法	学校の進度に合わせて進め、学習内容をしっかり定着させましょう。理科が得意ならば、ぜひチャレンジにも取り組みましょう。		

1年のまとめ～3年のまとめ

(16) (26) (36)

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50～60分
目　的	教科書内容をまとめて復習したい。		
内　容	各学年での履修内容を章ごとにまとめています。定期テストの直前や夏休みを利用した復習など、広い範囲の学習を短時間で行うのに適しています。		
活用法	テスト範囲が特に広い場合、チェックだけを学習すると短時間で復習できます。高校入試対策として、中3の夏休みに中1、中2の内容を総ざらいするのも効果的です。		

公立高校入試対策Ａ～Ｃ

67　68　69

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題をベースとした対策シリーズです。ステップ1は物理、ステップ2は化学、ステップ3は生物、ステップ4は地学に関する問題を扱っています。Ａ、Ｂ、Ｃの順に難度が上がります。記述式の問題も順に増えていきます。		
活用法	入試本番のように時間を区切って取り組み、分からないところはしっかり確認しましょう。冬休みから学習を始めても1週間に2単元程度進めると入試に間に合います。最後まで諦めずに取り組みましょう。		

公立高校入試対策　活用・思考力

501

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり 10～15分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題から、調査結果を考察して解答を導く問題や、日常生活での事象に関連して知識を問う問題、実験の方法や考察を記述する問題など、思考力、判断力、表現力が問われる問題をピックアップ。新傾向の入試問題の実践演習ができます。解説も充実しています。ステップのみの構成です。		
活用法	「公立高校入試対策Ａ～Ｃ」のあとの、入試対策の仕上げとして最適です。		

国私立高入試演習

71

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。公立高校入試のレベルを超えた実践演習ができます。		
活用法	夏休みの頃から「公立高校入試対策Ａ～Ｃ」分野に取り組み、10月頃からこの分野へ学習を進めましょう。難関国私立高を狙う場合には、10月頃までに終わらせるような計画を立てましょう。		

難関国私立高入試演習

72

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	難関国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。レベルの高い実践演習ができます。		
活用法	まず「国私立高入試演習」分野に取り組み、10月頃からこの分野へ学習を進めましょう。		

中学　社会

311 312 321 322 323 324 325 326 330 331 332 333

歴史(古代･中世､近世～現代)､地理(世界のすがた､世界各地の環境と生活､世界の諸地域､日本のすがた､世界からみた日本､日本の諸地域)､公民(現代社会と生活､憲法と政治､経済､国際社会)

難　易	(基礎) (標準)　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30～40分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	基本から定期テストレベルの問題まで、一つひとつ着実に問題を解きながら覚えていくことができます。チャレンジは公立高校入試レベルの問題です。		
活用法	「ステップを解きながら覚える」という方法がおすすめです。ステップはラーニングを見ながら解き、リトライはラーニングを見ずに解くという方法も知識の定着には良いでしょう。		

歴史のまとめ、地理のまとめ、公民のまとめ

314 328 336

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50～60分
目　的	教科書内容をまとめて復習したい。		
内　容	各学年での履修内容を章ごとにまとめたシリーズです。定期テストの直前や夏休みを利用した復習など、広い範囲の学習を短時間で行うのに適しています。		
活用法	テスト範囲が特に広い場合、チェックだけを学習すると短時間で復習できます。高校入試対策として、中3の夏休みに中1、中2の内容を総ざらいするのも効果的です。		

歴史 総合、地理 総合

313 327

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50～60分
目　的	地理と歴史の力を高めたい。		
内　容	高校入試に備え、歴史と地理の学習内容を総合的にまとめた問題です。		
活用法	「まとめ」分野を終えたあと、高校入試対策として中3の秋から冬にかけて学習すると効果的です。		

記述問題対策

(41)

難　易	基礎　標準　(標準(やや難))　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり30分
目　的	入試に向けて記述問題対策をしたい。		
内　容	資料から情報を読み取って説明する問題や、できごとの内容を問う問題などの記述問題に特化しています。歴史・地理・公民からバランス良く、公立高入試で頻出の内容を出題しています。		
活用法	「まとめ」分野や「公立高校入試対策Ａ～Ｃ」分野と併用すれば、より充実した入試対策ができます。		

公立高校入試対策Ａ～Ｃ

(401) (402) (403)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり50分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題をベースとした対策シリーズです。ステップ1は地理、ステップ2は歴史、ステップ3は公民に関する問題を扱っています。Ａ、Ｂ、Ｃの順に難度が上がります。記述式の問題も順に増えていきます。		
活用法	入試本番のように時間を区切って取り組み、分からないところはしっかり確認しましょう。冬休みから学習を始めても1週間に2単元程度進めると入試までには終わります。最後まで諦めずに取り組みましょう。		

公立高校入試対策　活用・思考力

(501)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり10～15分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題から、図、表、グラフを読み取って解答を導く問題や、日常生活に関わる事柄をきっかけとして知識を問う問題、考察を記述する問題など、思考力、判断力、表現力が問われる問題をピックアップ。新傾向の入試問題の実践演習ができます。解説も充実しています。ステップのみの構成です。		
活用法	「公立高校入試対策Ａ～Ｃ」のあとの、入試対策の仕上げとして最適です。		

国私立高入試演習

(71)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。公立高校入試のレベルを超えた実践演習ができます。		
活用法	夏休みの頃から「公立高校入試対策Ａ～Ｃ」分野に取り組み、10月頃からこの分野へ学習を進めましょう。難関国私立高を狙う場合には、10月頃までに終わらせるような計画を立てましょう。		

難関国私立高入試演習

(72)

難　易	基礎　標準　標準(やや難)　(応用(入試))	所要時間	1単元あたり60分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	難関国私立高校の入試問題をベースとした入試直前問題演習シリーズです。レベルの高い実践演習ができます。		
活用法	まず「国私立高入試演習」分野に取り組み、10月頃からこの分野へ学習を進めましょう。		

中学　国語

教科書準拠シリーズにおいて、分野名の漢字１字は、次のものを指します。
光：光村図書
東：東京書籍
教：教育出版
三：三省堂
※教科書準拠シリーズは、上記の４つの教科書に対応しています。

教科書準拠シリーズ 漢字

(311) (313) (315) (321) (323) (325)
(331) (333) (335) (341) (343) (345)

難　易	(基礎) (標準)　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	教科書の掲載順に漢字の学習ができます。ステップ1では読み、ステップ2では書きの練習をします。熟語は教科書の本文中に出てくるものを扱っています。音訓どちらについても読みと書きの問題を網羅しているので、徹底的に漢字の練習ができます。		
活用法	漢字が苦手な場合、まずはステップ1を徹底的に練習して漢字の読み方を身につけましょう。		

言葉の知識・漢字の知識

(361)

難　易	(基礎) (標準)　標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	「指示語」や「接続語」、「熟語の構成」や「部首」といった内容から、「音声の働きと仕組み」や「いろいろな表現技法」といった内容まで、教科書で学ぶ言葉や漢字の知識を学習できます。		
活用法	教科書や学校での学習範囲に合わせて単元を選びましょう。教科書準拠シリーズの「漢字」分野と併せて学習すれば、定期テスト対策としてより効果的です。		

文法・敬語

365

難　易	(基礎) (標準) 標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	文、品詞、敬語など、中学で学ぶ国文法を広く学習できます。ポイントを押さえて丁寧に説明をしているので、基礎からしっかり学習できます。文法が苦手な生徒におすすめです。		
活用法	教科書や学校での学習範囲に合わせて単元を選びましょう。教科書準拠シリーズの「漢字」分野、「言葉の知識・漢字の知識」分野とともに学習すれば、定期テスト対策としてより効果的です。		

文法のまとめ

366

難　易	基礎 (標準) (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	国文法をまとめて復習したい。		
内　容	文、品詞、敬語など、中学で学ぶ国文法を広く学習できるまとめ問題です。		
活用法	定期テスト対策や、高校入試のための学習に便利です。「文法・敬語」分野を学習したあと、復習としても活用できます。		

古文

371

難　易	(基礎) (標準) 標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	定期テスト対策をしたい。		
内　容	教科書に掲載されている題材で、古文と漢文を基本から学習できます。古文や漢文を読む上で必要な基礎知識を学習する単元を設けたり、1つの作品をいくつかの単元に分けたりしているので、古文や漢文が苦手な生徒も取り組みやすくなっています。		
活用法	教科書や学校での学習範囲に合わせて単元を選びましょう。余裕のある場合は、教科書に掲載されていない部分の単元を学習するのも良いでしょう。入試の基礎固めとしても最適です。		

古文のまとめ

372

難　易	基礎　標準 (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり50分
目　的	入試に向けて古文の勉強をしたい。		
内　容	古文と漢文のまとめ問題です。ラーニングで基礎知識をまとめて解説しているので、基礎をしっかり復習できます。		
活用法	教科書には掲載されていない作品も扱っているので、「古文」分野のワンランク上の学習ができます。入試対策として学習するのも良いでしょう。		

文章問題①～③

(381) (382) (383)

難　易	基礎 (標準) (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり40分
目　的	文章読解の練習をしたい。		
内　容	「指示語」「心情把握」「説明文」「物語文」など、教科書の題材から離れて現代文の読解練習ができます。分野名の数字①～③は、それぞれ学習する学年の目安です。		
活用法	①～③を順に進めることで、読解力を着実に身につけることができます。あまり学年にとらわれず、実力に合わせて学習を進めましょう。		

公立高校入試対策　活用・思考力

(501)

難　易	基礎　標準　標準(やや難) (応用(入試))	所要時間	1単元あたり15～20分
目　的	入試に近い問題形式で練習がしたい。		
内　容	公立高校の入試問題から、図、表、グラフを読み取って内容を要約する問題や、自分の意見を作文にまとめる問題など、思考力、判断力、表現力が問われる問題をピックアップ。新傾向の入試問題の実践演習ができます。解説も充実しています。ステップのみの構成です。		
活用法	入試対策の仕上げとして最適です。		

漢字・語句 小学5年生範囲、小学6年生範囲

(191) (192)

難　易	(基礎) (標準) 標準(やや難)　応用(入試)	所要時間	1単元あたり30～50分
目　的	小学生範囲の漢字を復習したい。入試対策として漢字の練習をしたい。		
内　容	小5、小6の配当漢字の読みと書き、「熟語の構成」や「部首」など、小学で学習する漢字の知識について、復習と練習ができます。		
活用法	公立高校入試の書き取り問題には、小5、小6の漢字が頻出します。入試対策として取り組むのもおすすめです。		

漢字・語句 中学レベル1～3、高校レベル

(193) (194) (195) (196)

難　易	基礎 (標準) (標準(やや難)) 応用(入試)	所要時間	1単元あたり20～30分
目　的	もっと漢字の練習がしたい。		
内　容	中学配当漢字の読み書きの練習ができます。「高校レベル」分野では、漢字以外にも対義語や故事成語など漢字の知識も学習できます。		
活用法	中学レベルは総復習として、高校レベルは高校進学に備えて学習しましょう。		